

拝啓

初冬の候　ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。当隊は十一月十三日に呉を出港し、約三週間かけてジブチに到着致しました。そして、十二月第二週に当隊として最初の護衛及び区域防護の任務を終了したところです。

先日は当隊の出港に際し、大変な激励の品を賜り、誠にありがとうございました。賜りました品は全隊員に届け、一同日本国内から応援を頂いていることを改めて感謝しているところです。

さて、当隊も出国して早一カ月が過ぎました。ここで当隊の近況についてご報告させていただきます。

現在の当海域は、風もそれほど強くなく、暑さも最高気温が三十度前後と、比較的天候に恵まれ、護衛艦「さみだれ」は区域防護、護衛艦「さざなみ」は護衛の任務をそれぞれ遂行しております。ただし、天候が穏やかであるということとは、海賊も活動しやすいということでもありますので、特に「さみだれ」は、疑わしい船舶を発見した場合は近づいて海賊ではないことを確認するという緊張した活動を行っております。また、「さざなみ」も、これまで護衛艦二隻で実施していた護衛任務を一

隻で実施しており、警戒を怠ることなく護衛対象船舶の護衛任務を行っております。

このような緊張した任務を遂行しながらも、また行動中の殆んどを洋上で過ごす当隊隊員は、自分自身で艦上での運動や、適宜休憩をとりながらリズムを作ってそれぞれの職務を遂行しておりますのでご安心ください。

右お礼かたがた当隊の近況につきましてご報告させて頂きます。当隊は、皆様のご期待に応えるべく、隊員が一丸となって任務の完遂に努める所存でございますので、なにとぞ今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

敬具

平成二十五年十二月十四日

第十七次派遣海賊対処行動水上部隊指揮官

第四護衛隊司令 一等海佐 田尻裕昭

公益社団法人隊友会会長

西元徹也 様